

## 評価の結果

評価項目	評価結果						項目 点数
	JAL	ANA	SKY	ADO	SNA	SFJ	
1. 利用者利便の向上の観点からの評価項目							
(1) 運賃水準の低廉化の努力							
旅客キロあたり旅客収入の過去5年間の変化率が各社間平均を下回っていること	0	0	3	0	3	0	6
(2) 安全の確保							
以下の指標毎の各社間順位点の合計 ・過去5年間の機材品質に係る不具合に起因する欠航又は15分を超える遅延の発生率 ・過去5年間に義務報告した安全上の支障を及ぼす事態に対して90日以内に必要な再発防止策を策定した割合	1.1	1.2	1	1.2	0.2	1.3	6
(3) 全国的な航空ネットワークの形成・充実への貢献							
①全国規模での航空ネットワークの形成・充実への貢献							
以下の指標の各社数値の合計値に占める各社数値の割合 ・地方路線（幹線及び羽田路線以外の路線（離島路線を含む））の路線数	2.8	2.3	0.5	0.2	0.2	0.0	6
以下の指標の各社数値の合計値に占める各社数値の割合 ・地方路線（幹線及び羽田路線以外の路線（離島路線を含む））の旅客キロ	1.8	3.2	0.8	0.2	0.1	0.0	6
②羽田空港と地方の空港との間の路線の形成・充実への貢献							
羽田路線の全路線便数に占める幹線以外の路線の便数の割合が各社間平均を上回っていること	2	2	0	0	2	0	6
以下の指標の各社数値の合計値に占める各社数値の割合 ・3便ルール対象路線の便数	1.8	4.2	0	0	0	0	6
(4) 新規航空会社の競争環境整備による競争の促進							
保有機材数が12機に増枠の時点で達する計画が無いこと	0	0	0	0	0	6	6
2. 航空会社の効率的な経営の促進の観点からの評価項目							
旅客キロあたり営業費用の過去5年間の変化率が各社間平均を下回っていること	1	1	1	0	0	0	3
従業員一人あたり営業収益の過去5年間の変化率が各社間平均を上回っていること	1	0	0	1	0	1	3
3. 発着枠の効率的な使用の観点からの評価項目							
羽田空港の1運航当たりの輸送人員が羽田空港平均を上回っていること	0	1.5	1.5	0	0	0	3
4. その他							
行政処分を過去5年間受けていないこと	0	0	0.75	0.75	0.75	0.75	3
計	11.4	15.4	8.5	3.3	6.2	9.1	54
破綻の影響を控除する係数 (評価期間(H19～23年度:1826日)における企業再生期間(H22.1.19～H24.3.31:802日)を除いた期間の割合)	0.56	-	-	-	-	-	-
合計点数 (JALの合計点数は、1(2)及び4を除き、各項目の評価結果に上記係数を乗じて算出)	6.9	15.4	8.5	3.3	6.2	9.1	49.5
配分枠数(25枠を合計点数で按分。小数点第一位を四捨五入。)	3.4 ⇒ 3	7.7 ⇒ 8	4.3 ⇒ 4	1.6 ⇒ 2	3.1 ⇒ 3	4.5 ⇒ 5	25

注:

- ・各項目の点数及び合計点数は、小数点第一位までの表示としているため、合計で一致しない箇所がある。
- ・過去5年間の変化率は、平成19年度と平成23年度の間での変化率を指す。
- ・1. (3)①の路線数及び②は平成24年6月、1. (3)①の旅客キロ及び3. は平成23年度実績による。

【参考】

	(現在)	(今回の配分)	(配分後)
日本航空	180.5	3	183.5
全日空	163.5	8	171.5
スカイマーク	32	4	36
エアドゥ	21	2	23
スカイネットアジア	22	3	25
スターフライヤー	14	5	19

※出発枠又は到着枠のみ配分したものは0.5便としてカウント